

平成 24 年度

予算総額

平成 24 年度の福津市の予算が、先に開催された 3 月議会定例会で議決されました。地方自治法の規定に基づき、その概要をお知らせします。

予算の内訳

一般会計 198億3,128万6千円(4.5%増)
特別会計 152億7,738万9千円(9.4%増)

計 351億867万5千円

今年度の予算は国の予算編成が東日本大震災の復旧・復興の推進並びに歳出削減による財源確保及び地域主権改革の推進を実施していく中、市政運営の指針である「総合計画」や「第二次行政改革大綱骨子」、「中期財政見通し」に基づき、引き続き計画的な予算措置と「最小の経費で最大の効果」を挙げるといふ地方公共団体の責務を果たすため、自主・自立の行財政運営の確保を目指しました。

本市の将来像である「人を、

明日を、誇るまち。福津。」の実現に向けては、「選択と集中」を基本に各種施策に取り組みながら、効率的な予算づくりに努めました。

◆一般会計は2年ぶりの増額

一般会計歳入 グラフ1・2

歳入は、税金などの「自主財源」と国や県補助金などの「依存財源」に分けられます。「自主財源」が多いほど、市独自の住民サービスの提供や将来へ向けての積立ができ、行政活動の自主性、安定性が確保できます。

一般会計歳入のうち自主財源である市税は前年度比1億2320万円、2.5%の増を見込んで

います。市民税が、個人では景気低迷、納税者人口の減、税制改正など、法人ではイオンモール福津開業に伴う法人数の増加等を総括的に見込み、前年度比532万3千円、0.2%の増、固定資産税が、法人の増加に伴う事業者の設備投資に係る償却資産の増等により前年度比378万3千円、1.8%の増となったことなどが挙げられます。全体として、自主財源比率は36.9%となり、市の財政基盤は厳しいものといえます。

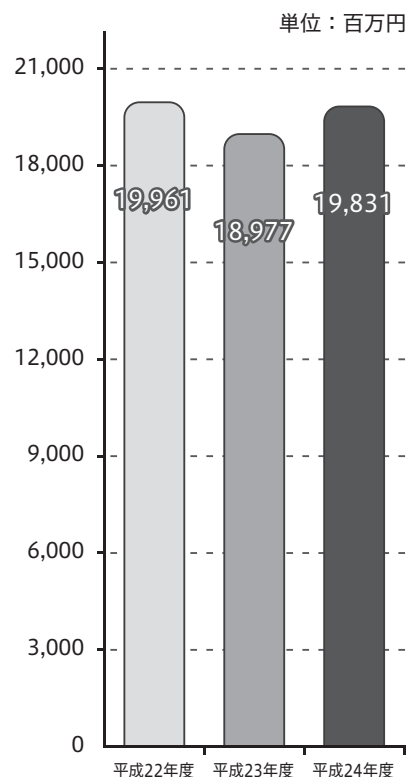
依存財源のうち地方交付税は、前年度に比べ2億9000万円、5.6%の増を見込んでいます。国庫支出金は児童手当制度の創設に伴い、国と地方との負担割合が変更となったことなどにより1890万1千円、0.8%の減を見込んでいます。県支出金については、緊急雇用創出事業にかかる補助金が減額となったことなどから3068万円、2.9%の減を見込んでいます。

◆一般会計歳出 グラフ3・4

一般会計歳出については、総合計画に掲げられている分野別目標に沿って主な内容を次ページの表Bで紹介しします。

一般会計 予算規模の推移

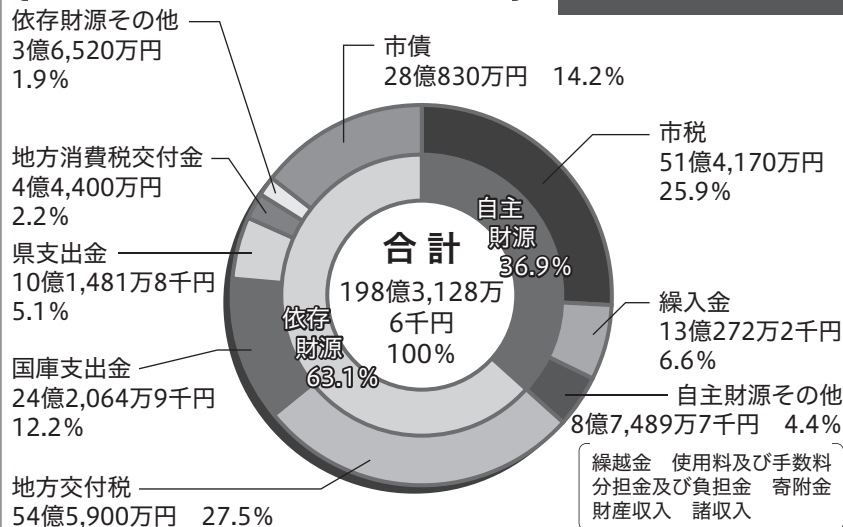
グラフ1



一般会計 歳入

グラフ2

地方譲与税 地方特例交付金 自動車取得税交付金 利子割交付金 ゴルフ場利用税交付金 配当割交付金 交通安全対策特別交付金 株式等譲渡所得割交付金



特別会計 表A

区 分	単位：千円・%			
	本年度当初予算額	前年度当初予算額	増減額	増減率
国民健康保険事業特別会計	6,547,895	6,023,232	524,663	8.7
後期高齢者医療事業特別会計	803,652	746,381	57,271	7.7
介護保険事業特別会計	3,791,469	3,475,955	315,514	9.1
公共下水道事業特別会計	4,052,293	3,618,287	434,006	12.0
地域し尿処理施設事業特別会計	68,773	81,898	△ 13,125	△ 16.0
住宅新築資金等貸付事業特別会計	13,307	16,506	△ 3,199	△ 19.4
合 計	15,277,389	13,962,259	1,315,130	9.4

◆特別会計は約13億円の増

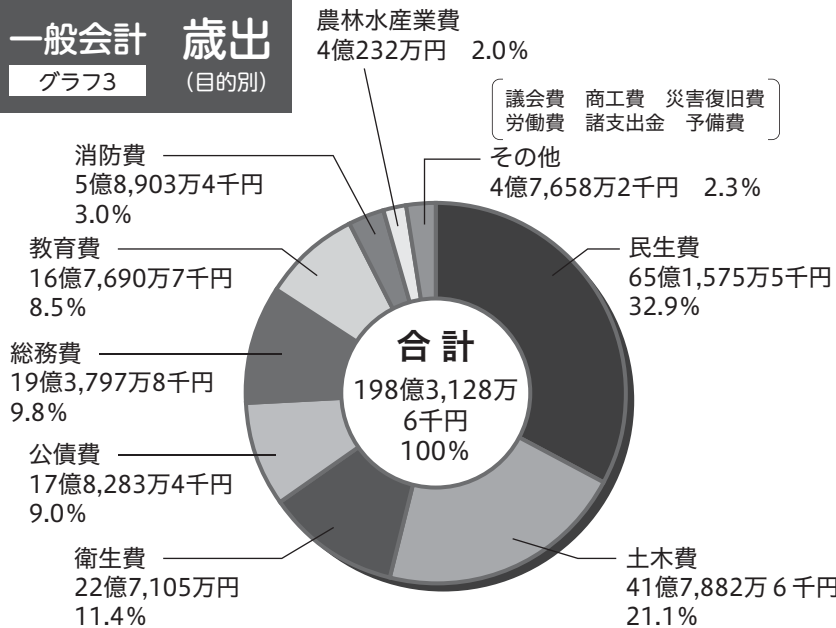
市の会計には、一般会計のほかに六つの特別会計があります。特別会計とは特定の事業を行うため、一般の歳入歳出予算と区別して整理する必要がある場合に設置するものです。当市の特別会計の予算額は表Aのとおりです。特別会計の合計は前年度比13億1513万円、9.4%の増となりました。

これは、国民健康保険事業において医療費の増加に伴い、前年度比5億2466万3千円、

8.7%の増となったことや、公共下水道事業においても、下水道整備の進捗に伴い、前年度比4億3400万6千円、12.0%の増となったことなどが挙げられます。

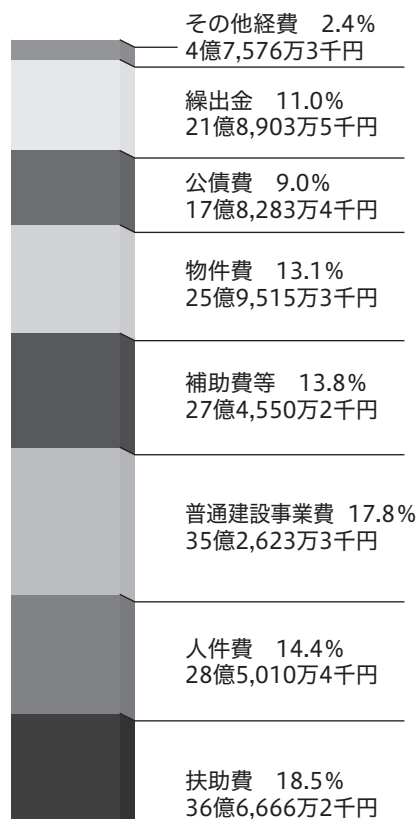
一般会計 歳出

グラフ3



一般会計 歳出

グラフ4



特集

予算と事業



家計に例えると…

億単位の予算の話は想像しにくいものです。そこで、より予算額についてイメージしやすいよう、市の予算を「食費」や「医療費」など身近なものに置き換え、仮に年収300万円だった場合の家計簿にしてみました。

福津市の予算を一般家庭に置き換えてみると(年収300万円で計算) (単位：円)

収入の部	
項目 ※()内は市の歳入予算科目	金額 ※()内は1ヵ月当たりの額
給与収入 (市税)	777,816 (64,818)
家賃収入 (使用料及び手数料、分担金及び負担金)	82,793 (6,899)
銀行などからの借入金 (市債)	424,829 (35,402)
預金の引き出し (繰入金)	197,071 (16,423)
預金の利子 (利子割交付金、配当割交付金など)	4,084 (340)
実家からの援助金 (地方交付税などの依存財源)	1,463,849 (121,987)
土地の売却など (財産収入)	9,333 (778)
前年度の残金 (繰越金)	15,128 (1,261)
雑収入 (諸収入、寄附金)	25,097 (2,092)
合計	3,000,000 (250,000)

貯金の部	
項目 ※()内は市の基金科目	金額 ※()内は市の基金残額
貯金 (財政調整基金、減債基金、教育施設建設準備基金、まちづくり基金、ふるさとづくり基金)	1,333,716 (88億1,643万6千円)

※上記は全て一般会計予算で作成

支出の部	
項目 ※()内は市の歳出予算性質別分類	金額 ※()内は1ヵ月当たりの額
食費 (人件費)	431,153 (35,929)
医療費、教育費など (扶助費)	554,678 (46,223)
ローン返済 (公債費)	269,700 (22,475)
光熱費、電話料金、物品購入など (物件費)	392,585 (32,715)
家の維持補修 (維持補修費、災害復旧費)	21,522 (1,794)
友人への援助金など (補助費等、投資及び出資金、貸付金)	452,580 (37,715)
家の増改築など (普通建設事業費)	533,435 (44,453)
貯金 (積立金)	8,613 (718)
家族への仕送り (繰出金)	331,149 (27,596)
雑費 (予備費)	4,585 (382)
合計	3,000,000 (250,000)

借金の部	
項目 ※()内は市の地方債科目	金額 ※()内は1ヵ月当たりの額
借金 (合併特例債、臨時財政対策債など)	3,089,817 (204億2,501万7千円)

平成24年度予算の主な総合計画体系別予算額 表B

事業名称	予算額(千円)	事業名称	予算額(千円)
0. 行政経営へと変革する			
庁舎統合専門調査	4,891	行政・観光情報ステーション管理運営	11,375
収納強化	5,620	行政経営推進	2,186
1. みんなの力で地域自治をすすめるまち			
郷づくり推進	95,745	自治会(区)支援	91,952
古墳公園史跡等購入	100,453	世界遺産登録活動	18,092
カレッジ講座運営	2,263	ふくつ自然塾整備	6,204
2. 子どもが夢を持ち、健やかに育つまち			
「こどもの城」整備	205,834	小学校施設大規模改造	250,004
福岡南小学校校地周辺緑化整備	19,423	乳幼児医療費支給(市単独分)	42,789
発達支援	15,689	通級指導教室整備	4,734
3. みんなが安全に、安心して暮らせるまち			
女性消防団創設	2,237	個別予防接種(子宮頸がん予防、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン)	49,445
在自川冠水対策	33,432	地域防災計画改定	5,800
4. 自然を大切にしたい美しいまち			
松くい虫防除	56,005	竹尾地区緑地保全	35,264
住宅用新エネルギー設備等設置補助	8,000	コミュニティサイクル	10,750
西郷川リバーズ	348,041	地域分別ステーション整備	3,000
5. みんなにやさしく、快適で住みよいまち			
宮司地区市道整備	120,120	駅東土地区画整理地区内公園整備	121,247
西鉄宮地岳線跡地整備	35,170	市営住宅改修	31,642
松原上西郷線整備	434,500	福岡駅東土地区画整理	270,135
6. 地域産業を支え、育むまち			
まちおこしセンター管理運営	11,127	中小企業融資制度	35,000
農業用施設整備	36,478	水産振興補助	3,950
津屋崎千軒レトロ調街灯整備	5,996	観光産業活性化推進	2,000
7. 福津ブランドを生み育て、発信するまち			
福津ブランド推進	8,273	福津市P R	2,400

福津市の貯金と借金

市には一般に支出するお金とは別に、不測の事態に備えたり、特定の事業を行ったりするために蓄えた基金というのがあります。一般家庭で言えば貯金となるものです。また、市がいろいろな事業を行う上で、銀行などからお金を借りて事業を実施することがあります。これは一般家庭で言えば家を買うために住宅ローンを組むことに例えることができます。

では、今現在、市にどれだけの貯金と借金があるのでしょうか。一般会計で見た基金と市債残高の推移をグラフで表してみました。【グラフ5】

市債の新規借入れについては今後、大規模事業が完了するため減りますが、それまでに借入れた合併特例債や臨時財政対策債などの市債の償還が毎年増加することから、地方債残高も平成26年度までの間は、ほぼ右肩上がりが増加する見込みです。

基金については、平成23年度に市債の繰上償還等に伴い、市債の返済に充てる減債基金を2億1000万円取り崩しましたが、平成24年度以降は実施計画事業を推進するために、主に教育施設建設関連に充てる教育施設建設準備基金とまちづくり全般に充てるまちづくり基金を取り崩す予定で、全体でも徐々に減少していく予定です。

